

デジタル統括部 部内横断課題解決プログラム提案書

「市民開発エバンジェリスト育成プログラム」

1. 背景

項目	内容
市民開発の必要性	FY24 のトレーニング・サポート体制不足。FY25 市民開発チームが内製カリキュラム作成・ハンズオン研修計画中。
ビジネスアライメント効果	現場ニーズに即したシステム開発で、必要な機能を迅速に実現可能。
キャリア自律効果	社員が自らデジタルスキルを習得し、付加価値の高い業務に従事できる環境を構築。

2. プログラム目的

目的	詳細
全社員のデジタル人財化	ローコード開発スキルを通じて、全社員がデジタル変革の担い手となる基盤を構築。
内製研修の品質向上	カリキュラム体験を通じて、改善点を具体的に特定・提案。

3. プログラム内容

フェーズ	主な内容
1. ハンズオン研修受講	- 内製カリキュラムの受講体験

	<ul style="list-style-type: none"> - 実践的スキル習得 - 躰きポイント・理解度の記録・分析
2. 評価・フィードバック	<ul style="list-style-type: none"> - 難易度・説明・演習内容の多角的評価 - 改善提案の作成 - 学習効果測定・継続学習動機検討
3. 全社展開準備	<ul style="list-style-type: none"> - 知見共有・ベストプラクティス集約 - 展開戦略・推進体制構築 - 支援体制設計・運用具体化

4. プログラムターゲット

対象・内容	詳細
入門レベル対象	ローコード未経験者も安心して参加できる設計
基礎スキル習得	プログラミング制御構造(順次・条件分岐・繰り返し)を実践で確認
開発プロセス体験	要件定義から改修まで一連の流れを経験し、理解を深化

5. 期待される成果

成果	詳細
研修品質の向上	内製カリキュラムの実用性・効果を客観的に検証・改善
推進体制の強化	デジタル統括部が市民開発の社内エバンジェリストとして機能
全社展開の基盤	ビジネス部門への効果的な展開方法・サポート体制を確立